

ひとよし 市議会だより

第113号

2022 / 令和4年8月1日 発行



掘り下げの改修のために樹木が伐採される中川原

主な内容

- ② 6月定例会報告
- ⑥～⑩ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑪ 令和3年度政務活動費収支報告
- ⑫ 人吉市議会に関する
市民アンケート結果

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市西間下町字永溝7番地1
☎ 0966-22-2111 (代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

6月定例会報告

令和4年6月第3回定例会は6月7日から6月28日までの22日間開催しました。

令和4年度 一般会計補正予算
6億7,479万8千円 増額可決
(補正後の総額は204億9,586万6千円)

人 事 案 件

公平委員会委員の
選任に同意した方

小川 百合子 氏

人権擁護委員の
推薦に同意した方

瓜生 貴士 氏
柳瀬 恵子 氏

審議された議案等の議決結果

※表決が割れた議案はありませんでした。

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第38号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度 人吉市一般会計補正予算(第12号))	原案承認	議第46号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第39号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市税条例等の一部を改正する条例)	原案承認	議第47号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第40号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認	諮第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第41号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認	諮第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第42号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	議第48号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第43号	令和4年度 人吉市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	発議第8号	人吉市議会基本条例の制定について	原案可決
議第44号	令和4年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	意見第9号	適格請求書等保存方式導入に係るシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書	原案可決
議第45号	人吉市庁舎等移転建設審議会条例を廃止する条例の制定について	原案可決			

令和4年6月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
厚生委員会	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出に関する陳情書	採 択

ちよここと解説!!

陳情書の議決結果は「採択」でした。国に意見書を提出することが陳情内容であったことから、意見第9号の議案を議会最終日に提案し、原案可決しています。意見書の詳細は5ページに掲載しています。



人吉市議会基本条例を制定しました



●議会基本条例とは

議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定めている条例のことをいいます。国への権限の集中から、地方公共団体に権限が大きく移されている中、地方議会が担う役割も大きくなっています。これに対応するため、人吉市議会でも議会基本条例の制定を目指し、議会制度研究会で検討を重ねてきました。

●人吉市議会の志

市政の意思決定機関としてその権能を最大限に発揮できるよう、自らの果たすべき役割と責務の重要性を改めて認識し、市民の負託に全力で応えていく決意で、人吉市議会の志す基本理念及び基本方針を定め、議会の最高規範としてこの条例を制定しました。

人吉市議会基本条例は令和4年6月定例会の最終日に議員発議で提案し、原案可決しました。

○条例(一部抜粋) (議会の活動原則)

第4条 議会は、市民を代表する合議制の機関として、その役割を果たすため、次に掲げる原則に基づき活動するものとする。

- (1)公正性及び透明性を確保すること。
- (2)市民に対する説明責務を果たすこと。
- (3)市民の負託に的確に応える議会の在り方を不断に追求し、議会の改革に継続的に取り組むこと。

(議員の活動原則)

第5条 議員は、市民の直接選挙によって選ばれた公職として、自らの職責を果たすため、次に掲げる原則に基づき活動するものとする。

- (1)市政に関する市民の意思の把握に努めること。
- (2)市政の課題及び政策に関する広範な情報収集及び調査研究に努めること。
- (3)自らの資質向上のため、不断の研さんに努めること。

条例の全文や解説付きの条例全文を
市ホームページに掲載しています



総務文教委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 宮崎 保
●委員 松村 太・犬童 利夫・西 信八郎

令和4年度 一般会計補正予算を承認

総務部関係の主なものは、鉄道関連資源と他の観光資源の相関関係等を分析・把握し、鉄道ミュージアム MOZOCAステーション868をはじめ鉄道資源を核とした魅力向上の新たな施策の立案や、今後の方向性を見出し地域経済の好循環を生み出すための戦略策定を行う委託料。水害に備え、住まいの早期復興が図れるよう、市内全世帯を対象に、本年10月からの保険料改定を考慮し、水災保険の加入促進を目的として保険料の一部を助成するものです。助成額は、水災保険を含む火災保険料額の5分の1(1万円を上限)、対象期間は令和4年10月1日から令和7年度末までとし、当期間内に1回の助成とするとの説明があつております。

委員から、「助成金対象となる条件等はあるのか」との質疑に、「本市に住民票があり住居を持っている方。市税等を滞納されていない方。保険料が上がる10月1日以降で令和8年3月31日までに契約した方が対象である」との答弁があつております。

教育部の主なものは、小・中学校の児童・生徒の自宅へのパソコン持ち帰り開始に向けた保存用ケース及び充

電アダプターの購入費用や、東間小学校において日常的に車椅子を使用する児童などに配慮した多目的トイレやシャワー室の設置、バリアフリー改修工事費。令和2年7月豪雨により被災した、東西コミュニティセンターの災害復旧工事費などです。



東間小学校 多目的トイレバリアフリー改修工事現地視察



東西コミュニティセンター 災害復旧工事現地視察

人吉市庁舎等移転建設審議会条例を廃止する条例を承認

市長の諮問に応じて、新市庁舎の建設計画に伴う、庁舎等の建設位置や、庁舎等の規模及び機能に関することなどについて、調査審議し、答申を行う審議会に係る人吉市庁舎等移転建設審議会条例を、新市庁舎が完成し、供用開始したことから、同審議会の所期の目的は果たされたものとして、同条例を廃止するものです。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

令和3年度一般会計補正予算を承認

令和2年7月豪雨災害の災害救助費負担金の精算金の確定に伴い災害救助費2億3,963万3千円を減額。また、災害廃棄物仮置場が令和3年12月に閉鎖したため塵芥処理費委託料11億9,906万6千円を減額したものです。

条例の改正4件を承認

国の法律等の改正に伴い市税条例等の一部を改正されたものなどの3件と、国民健康保険においては国の財政支援期間延長に合わせて、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の適用期間が9月30日までに延長されました。

令和4年度一般会計補正予算を承認

保健センター費の使用料及び賃借料374万円の増額補正は、保健センター空調設備の不具合による空調機リースに係る経費です。

委員から「エアコンリース料は市が負担する経費なのか。貸主が負担するものではないか」などの質疑があり「貸主に空調設備の修繕を依頼したが高額となるため抜本的な修繕に至っていない。乳幼児健診等での来庁者のために市がエアコンをリースして短期間設置するもの」

との答弁がありました。これについては、別日に厚生委員会協議会を開催し契約内容やこれまでの設備等の経費負担等について詳しい説明を受けたうえで、執行部に対して「今後は適切な時期に予算提案を行って頂きたい」旨の注意喚起と「保健センターを利用される方のため、早期にエアコン設置を」との申し入れを行いました。

陳情書を採択

「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出に関する陳情書」は、公益社団法人人吉市シルバー人材センターから提出されたものです。内容は、令和5年10月に導入予定の消費税の適格請求書等保存方式について、シルバー人材センターが安定的に事業運営できる措置を求める意見書を国へ提出するよう求めるものです。

審査の過程で委員から「発注者は消費税込みで払っているのだから、シルバー人材センターは消費税を払うべきでは」、「シルバー人材センターの会員の方を応援したいので、この陳情については採択したい」さらに「シルバー人材センターの業態を再度精査されるよう努めてもらいたい」などの意見がありました。

経済建設委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 西洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

専決処分1件、予算案件2件を承認

専決処分の主なものは、繰越明許費補正の追加で、商工費「まち・ひと・しごと総合交流館整備事業」のレンタルキッチン用の備品について、製品の部品の入手が困難となり、事業費の一部（68万9千円）を繰り越すものです。委員から、「レンタルキッチン用の備品とは何か」との質疑に、「真空包装機1台分で、半導体の入手が困難になったため」との答弁がありました。債務負担行為補正の追加では、JR人吉駅構内の観光案内所の賃貸契約について、期間を令和3年度から令和6年度、限度額を119万9千円に設定するものです。委員から観光案内所の現状について質疑がありました。

予算案件の1件は、「令和4年度人吉市一般会計補正予算」で主なものは、農業費の償還金で、「環境保全型農業直接支払金返還金」です。これは国・県の指導により、交付

金66万2千円の返還を求めることとなったものです。委員から「最終的には誰が負担するのか」等の質疑がなされ、「協議会にお願いすることになる。解散したところは、個人が特定できる場合には、個人に請求することは可能との市の顧問弁護士の見解もいただいている」との答弁がっております。観光費の補助金で1,100万円は「人吉温泉観光協会補助金(宿泊支援事業)」で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する事業で、宿泊割引キャンペーンに対する補助金です。土木費の公有財産購入費の1億9,320万円は「災害公営住宅第2候補地」の用地取得費です。

もう1件の予算案件は「令和4年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算」で、中核工業用地測量業務委託料で、550万円を増額するものです。これは工業用地の売却に向けた準備をするものです。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 池田 芳隆 ●委員 全議員

「線状降水帯」の予測情報6月1日より開始

令和4年6月8日(水)に開催した本特別委員会は、熊本地方気象台の内山久人次長、松尾一弘予報官に、「今年の梅雨の見通しや各種情報の改善等について」説明いただき審査いたしました。

1. 今年の梅雨の見通し

向こう3か月の気温は平年並みか、高い。また降水量は、ほぼ平年並みで、6月は平年並みが多い。

2. 線状降水帯の予測情報の提供

まず線状降水帯とは次々と発生した積乱雲の列、数時間にわたって同じ場所を通過・停滞、線状にのびる長さ数百キロメートル、幅数十キロメートルの強い降水を伴う雨域を言う。令和2年7月3～4日の熊本県を中心とした大雨は、大量の下層の水蒸気が流入し、風上側で次々と発生した積乱雲が組織化した線状降水帯によってもたらされたものの。

令和4年6月1日より「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような、線状降水帯による大雨の可能性がある程度高い場合、半日程度前から地方予報区単位等で注意を呼びかけるとのことでした。

3. 地震情報の改善について

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対する津波警報について、南海トラフ地震について、人吉盆地南縁断層の想定について説明がありました。

4. 警戒レベルと防災気象情報について

段階的に発表される防災気象情報と対応する行動、早期注意情報、警報・注意報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、顕著な大雨に関する気象情報、それにキキクル(危険度分布)の活用について説明がありました。

質疑応答では、洪水時の氾濫発生情報について、線状降水帯の発生メカニズムについて、人吉盆地南縁断層について、台風の発生予測について等多くの質疑がありました。

復興のまちづくりに関する特別委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 西 洋子 ●委員 全議員

第11回の特別委員会では「中心市街地地区(被災市街地復興推進地域)の整備方針(案)について」審査を行いました。

中心市街地地区における道路や公園等の基盤整備の方針案や事業手法案等について説明があり、事業手法については、山田川の堤防強化と連携した避難路・避難地の整備、それと共に未接道の敷地とくぼ地の解消を実現するために、約1.2ヘクタールの区域に土地区画整理事業の区域を設定し、基盤整備を進めていきたいとの説明がありました。

委員から、「新温泉付近のくぼ地の解消方法について」の質疑があり、「くぼ地については、面的な整備により、かさ上げを行うことで解消する。今後、設計を入れ詳細に検討していきたい」との答弁がありました。

第12回の特別委員会においては「大柿地区における今後の住まいとコミュニティについて～第2回懇談会開催の状況」と「人吉市復興まちづくり計画の進捗について(青井地区・中心市街地地区)」について審査を行いました。

大柿地区については、懇談会での住民の意見や懇談会

で紹介した防災集団移転促進事業などについて説明がありました。

委員から、「国からの遊水地についての説明は」との質疑があり、「今のところ国のほうから説明会をする予定はないが、市として、国と定例的に話し合いをしており、遊水地そのものに対する疑問というのが住民からあるというのは伝えている。国のスタンスとしては、危ない地区という形で市が移転を求め、まずそこで合意形成を図っていただきたいと提案を受けている」との答弁がありました。

その答弁を受け、遊水地についての詳細な説明がないと、先には進まない。国に詳細な説明を行ってもらおうよう求める意見が出されました。

復興まちづくり計画の進捗については、青井地区での、青井復興まちづくり推進協議会の設置や用地先行買収について、中心市街地地区においては、紺屋町の土地区画整理事業区域内の土地所有者の方々への意向調査の結果などについて説明があり、まちづくり推進協議会の委員には、若い方や女性の方も多く入れていただきたいとの意見が出されました。

国の関係機関へ意見書を提出

適格請求書等保存方式導入に係るシルバー人材センターへの適切な措置を求める意見書

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された団体で、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式が導入される予定となっている。同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員は、インボイスを発行することができないことから、センターは仕入額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税しなければならないという問題が発生する。

消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところである。少額の収入しかないセンターの会員の手取額がさらに減少することなく、センターにおいて、安定的な事業運営が可能となるためには、センターの会員への配分金については、「適格請求書を交付することが困難な取引として交付義務を免除し、一定の事項を記載した帳簿のみの保存で仕入れ控除が認められる」適用除外等の措置を講ずる必要がある。

よって、国におかれては、適格請求書等保存方式導入にあたり、シルバー人材センターの会員への配分金について適用除外とする等の措置を講じられるよう強く要望する。

意見書は、令和4年6月28日付けで関係機関へ提出しました。
提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣です。





一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

6月定例会では、6月14日から16日までの3日間で14人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画画像がご覧いただけます。

QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です

指定避難所の整備、 観光戦略について 他



牛塚 孝浩



動画視聴

問

ペット同伴や、要介護者等に配慮した避難所は出来ているのか。

答

ペット同伴避難所の指定は出来ていない。要介護者などへの対応は8指定避難所で整備し、第一中学校に乳幼児避難所も開設した。

問

くまりばの温泉復旧計画と併せ、相良藩下屋敷跡地であることを磨き上げて、観光施設化できないか。

答

温泉は利便性、ランニングコストを抑えるよう検討し、原形復旧したい。観光施設としては、石碑への導線確保と相良藩のストーリーに重きを置き発信していきたい。

問

JR肥薩線復旧後の自治体負担軽減策について市長の考えは。

答

鉄道そのものの魅力創出により、稼げる路線の実現に向け、関係自治体とも議論を重ねていきたい。

※他、行政のデジタル化を質した。

矢岳駅で展示中の D51蒸気機関車の管理



西 洋子



動画視聴

問

所有者と管理者は誰か。

答

所有者はJR九州で、市へ無償で貸与いただいている。管理者は教育委員会。清掃等の委託は矢岳町内会にお願いしている。

問

アスベスト使用に関する調査内容と実施時期、現在の安全性は。

答

調査は依頼中。調査箇所はJR九州から指示されている箇所となる。平成17年に行った調査では今のところ心配ないとのこと。

問

現在の姿は見るも無残だがどのように管理されていたか。またこれからどう管理し、活用するか。

答

日々の管理は、清掃や簡単な防錆処理^{ぼうしちゆ}などを実施している。今後は展示館のシャッター設備の修繕を予定している。また、D51は歴史的価値がある物だと認識しているので適切に保存に努めたい。

市営住宅の安全管理について



福屋 法晴



動画視聴

問 市営住宅の扉・駐輪場をはじめとする安全確認及び対策は。

答 人吉市公営住宅等長寿命化計画に基づき、階段、手摺りの措置・不具合と感じるドアクローザーは、計画的に取り替えている。熊田口団地をはじめ危険性の高い駐輪場は撤去・改築または修繕で対応。

問 今後は既存の市営住宅に、災害公営住宅、建設型応急住宅の利活用戸数が増えることになる。今後の管理はどうしていくのか。

答 被災者の状況や要望を踏まえ、長寿命化計画の中で、人口推計や財政規模に即した管理戸数を目指し、居住に適さない住宅の用途廃止を進め、統廃合・建て替え・改修など検討したい。

※その他、農業委員会事務局を西間別館に移転設置を要望しました。

学校給食値上げと青井地区の安全度について



豊永 貞夫



動画視聴

問 世界的な物価高騰により、給食費の値上げをする自治体が出てきている。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を、給食費へ活用することについて、今後の給食費値上げについての考えは。

答 交付金については国からの通達が出たので、現在、高騰する食材費に活用する検討をしている。また、値上げについては今後の食料高騰次第で、学校給食費検討委員会を立ち上げて協議・決定する。

問 復興計画で、中神・大柿地区は遊水地や集団移転、中心市街地は堤防強化やくぼ地改善の計画だが、青井地区も土地高上げの安全対策実施後に区画整理できないのか。

答 球磨川水系流域治水プロジェクトによる治水対策を踏まえ、避難路・避難地の整備も実施していく。

復興まちづくりの現状と遊水地計画の進め方



平田 清吉



動画視聴

問 現在、令和2年7月豪雨災害から2年を経過しようとしているが、応急仮設住宅への入居状況は。

答 建設型仮設住宅では、最大入居時が345世帯765人、本年5月末時点では249世帯518人が入居中。市営住宅では最大入居時が154世帯302人、本年5月末時点では110世帯189人が入居中。みなし仮設住宅では最大入居時が509世帯1125人、本年5月末時点では323世帯671人が入居されている。

問 国の流域治水対策における遊水地計画について、本市の進め方は。

答 大柿地区においては一部分居住地と農地が残るが、住民への安心・安全を担保できないため、全地区住民が地区内の高台への移転か、他地域への集団移転を考えている。





令和2年7月豪雨の被災者支援について



池田 芳隆



動画視聴

問 帰郷を希望する再建済み被災者からの相談は把握しているか。また、支援策はあるのか。

答 被災者支援対策課及び地域支え合いセンターでは、相談は把握していない。なお、市外で再建された際、被災者生活支援金等の再建支援策を申請・受給されている被災者に対して、現行制度上では更なる支援制度はない。

問 被災住宅分に係る課税標準の特例措置の延長は行われるのか。

答 意向調査では、建築費高騰等により、再建計画を立てづらい被災者が数多くいることが浮き彫りになった。特例措置が外れた場合、被災者に新たな負担増となり、生活再建の遅延が危惧されるので、県から国に対し適用期間の延長を要望してもらった。

新市庁舎における合理的配慮について 他



徳川 禎郁



動画視聴

問 新庁舎において点字ブロック、案内板やトイレ等の点字表記などの視覚障害者への合理的配慮について市の考えは。

答 内部で協議・検討し、可能なことから随時対応していきたい。受付は、市民課において内容の確認をし、担当職員へつなぐ、または部署まで案内するなど親切丁寧な対応を努めてまいりたい。

問 熊本県の条例制定を受け、本市の手話言語条例の制定について市長の考えは。

答 ろう者が手話を使用して安心して暮らすことができる地域社会の実現には手話が言語であると市民が認識することが重要だと考える。今年度内の制定を目指したい。

※他、男性トイレへの汚物入れの設置、自治体DX等について質した。

原爆パネル展の継続を 他



本村 令斗



動画視聴

問 ウクライナ侵略の中、プーチン大統領の核使用の恫喝で、核抑止の声が出ている。真剣に人類の安全保障を考えるなら、核兵器を廃絶するのが一番だと思わないか。

答 核兵器の廃絶は理想であり、我々の住む地球や全人類の課題として取り組んでいく必要がある。

問 原爆パネル展の重要性は高まっている。今後も続けるべきでは。

答 継続して実施したい。

問 球磨川流域復興基金交付金に、高台移転や家屋嵩上げ、ピロティ化への助成が新設された。この事業を取り入れるべきでは。

答 水害対策や人口減少対策として考えられる様々な方策の一つとして有効である。事業化するならどのような制度設計が可能なのか、今後調査や検討をしていく。

復興推進市街地2年間 建築制限の効果は



大塚 則男



動画視聴

問 被災市街地復興推進地域について、2年間の建築制限の効果は。

答 被災市街地復興特別措置法に基づき災害を受けた市街地の健全な復興を図るため、必要最小限の建築行為の制限、良好な市街地の形成と都市機能の更新を図るもの。中心市街地では、令和3年10月から事業計画検討会や戸別訪問での意向調査を実施、令和4年2月、3月には、山田川の整備と一体となるまちづくりの懇談会を行い住民の皆様と検討を重ねてきた。本年4月の検討会では、まちづくりの基本的な考え方に基づき事業方針を示し、整備すべき主な機能について提案した。5月の戸別訪問では、対象権利者8割の方から理解が得られた。今後もスピード感を持って事業推進に努めたい。

被災農地状況と 今後の取り組みについて



宮崎 保



動画視聴

問 令和2年7月豪雨の被災農地と農業用施設
の被災、復旧の状況は。

答 被災農地が142件の139ヘクタールと農業用施設の被災が201件。中神・大柿・小柿地区は復旧工事が完了。林・戸越・七地区は工事中で永野地区は工事準備中、施設は59件が完了している。

問 不調不落の件数と対策は。

答 令和3年度発注した78件中不調が28件あった。受注者の工事体制整備を図り、円滑な施工を確保するため、余裕期間（90日以内）を見込んだ早期契約制の導入を採用。

問 営農者自身で自力復旧されている方に、何か補助はないのか。

答 県の復興基金を活用した自力復旧支援事業を、令和4年3月末まで実施。令和4年度も引き続き補助できるよう要望していきたい。

七地町の堤防整備と 河川防災ステーション



田中 哲



動画視聴

問 球磨川無堤地区について、七地町側の堤防整備と堆積土砂対策は。

答 国交省八代河川国道事務所によると、七地町側は後背地に家屋が無く、医療機関が立地している箇所は計画高水位よりも高い所に位置している。堤防建設の計画は無い。河道掘削は、上下流のバランスを考慮し必要に応じ実施予定。

問 球磨川本川で数百メートルにわたる無堤地区は他にない。球磨川水系流域治水プロジェクトに取り入れるよう強く要望できないか。

答 住民の一日も早い安全・安心な暮らしの実現に向け要望したい。

問 河川防災ステーションへの地権者の意向と整備場所と時期は。

答 下薩摩瀬地区を候補地に、地権者の8割の方が整備を希望。令和5年度から用地協議に入りたい。



人吉市業務継続計画の
改正等について



犬童 利夫



動画視聴

問 平成29年策定の業務継続計画について、その後、組織改革などを反映した改正は行われているか。

答 改正は行っていない状況。今後災害対策本部機能を新市庁舎へ移転したので、全組織を挙げて行わなければならない喫緊の課題として早急に見直しを行いたい。

問 避難行動要支援者の避難に関する個別計画及び浸水想定区域や土砂災害警戒区域の要配慮者利用施設の避難計画の作成状況は。

答 地域の方々に情報の提供をいただき個別計画は作成している。要配慮者施設は浸水想定区域に61施設、土砂災害警戒区域に11施設があり、全ての施設で作成済み。

※その他、新市庁舎の火災予防など防火管理計画と市内の農地利用に関する地域計画について質した。

学校の働き方改革・
介護者家族支援状況 他



松村 太



動画視聴

問 学校の働き方改革のこれからは。
答 長時間勤務の主な要因の部活動については、地域単位での取り組みに進めるべきと考える。

問 介護制度を利用する中で介護者家族支援の状況は。

答 地域包括支援センターの専門職が相談対応し、内容により専門窓口につないでいる。在宅介護に伴う介護者の負担緩和が課題。アンケート調査で家族視点の満足度を判断できる項目を追加し、介護保険事業計画に反映させ、より利用しやすい介護サービスにつなげる。

問 災害対応で避難路整備状況は。

答 人吉市復興まちづくり計画に基づき、コンサルタントの支援を受け避難路を精査しているところ。地区懇談会や住民の皆様からの意見は避難路整備に活用していく。

球磨川を活かした
復興まちづくり 他



宮原 将志



動画視聴

問 現在のかまちづくり計画は、中心市街地や青井地区が計画エリアとなっているが、まち全体を通じたかまちづくりを推進しているか。

答 災害からの復興という観点からも、まち全体を通じたかまちづくりの考え方は重要である。協議会で、エリアの拡大も含めて、計画の登録変更等に取り組みたい。

問 休日の中学校部活動が、令和5年度から段階的に地域に移行することになるが、本市の方針は。

答 今後、国や熊本県の方針が示されると思うが、生徒目線での改革を推進していくよう検討したい。

問 通学路の安全対策が、あまり進んでない。今後の安全対策は。

答 関係機関と連携を図り、国の補助制度等を活用しながらハード対策等に取り組んでいきたい。

令和３年度政務活動費収支報告書

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より返還金額が増加しました。

氏 名	収 入	支 出										
		調 査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・ 陳 情 活動費	会議費	資 料 作成費	資 料 購入費	人件費	事務所費	合 計
松村 太	120,000	53,281	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	58,281
徳川禎郁	120,000	53,281	25,500	24,902	0	0	0	0	12,540	0	0	116,223
池田芳隆	120,000	0	0	0	0	0	0	0	2,970	0	0	2,970
牛塚孝浩	120,000	0	7,660	86,239	0	0	0	0	123,650	0	0	217,549
西 洋子	120,000	0	0	88,000	0	0	0	0	4,950	0	0	92,950
宮原将志	120,000	54,264	0	48,253	0	0	0	0	18,898	0	0	121,415
高瀬堅一	120,000	0	0	0	0	0	0	0	18,150	0	0	18,150
宮崎 保	120,000	0	0	94,050	0	0	0	0	8,400	0	0	102,450
平田清吉	120,000	54,283	8,970	12,234	0	0	0	0	55,150	0	0	118,403
犬童利夫	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井上光浩	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊永貞夫	120,000	0	0	5,040	0	0	0	7,395	18,160	0	0	30,595
福屋法晴	120,000	53,283	0	0	0	0	0	0	13,200	0	0	66,483
本村令斗	120,000	0	0	9,525	0	0	0	0	15,086	0	150,000	174,611
田中 哲	120,000	54,283	0	42,196	0	0	0	9,840	0	0	0	106,319
大塚則男	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西 信八郎	120,000	54,283	0	0	0	0	0	0	27,094	0	0	81,377
合 計	2,040,000	376,958	47,130	398,205	0	0	0	17,235	318,248	0	150,000	1,307,776

- 注）・政務活動費の交付を受けた現職の議員を掲載しています。
・政務活動費の交付額は月額１万円。（行財政健全化計画に伴い、令和２年度から令和４年度まで、月額２万円を１万円に減額。）
・収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することとなっています。
・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

人吉市議会に関する市民アンケート 結果についてお知らせします(最終)

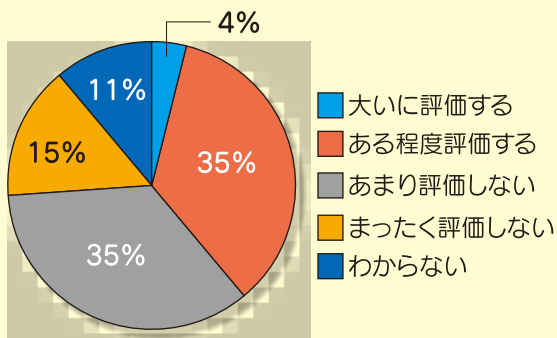


前号に引き続き、人吉市議会に関する市民アンケート結果についてお知らせします。
本アンケートにつきまして、348名の皆様にご回答いただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。回答の一部を掲載いたします。

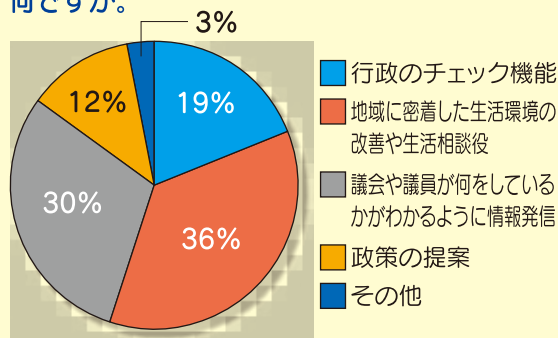
(※すべての回答は、市ホームページにてご覧いただけます👉)



○あなたは、市議会をどのように評価しますか。



○あなたが市議会議員に最も期待することは何ですか。



○議員定数について

定数については、多すぎるという回答が70%でした。また、適正と思われる定数は、15人が一番多く、次いで、10人、12人という結果でした。なお、「定数が多すぎる」という方の理由は次のとおりです。(一部抜粋)

- ・他自治体からすれば多すぎる。
- ・人吉市住民も減っている。校区ごと2名程度でいいと思う。
- ・議員の活動活性化のため、少数のほうが議員活動がよく可視化される。
- ・市の人口、財政規模、議員の活動内容等考えたとき、今の定数は多い。

○自由意見(一部抜粋)

- ・議員からの議会報告書が少ない。
- ・議会だより以外にも議員の活動について、もっと発信してほしい。個人でも議会全体でもいいので。
- ・選挙の時だけお願いに来られても、その後、顔を合わせることもない議員さんが多い。夜に会議を行うなどして、仕事をしながらも市議を兼業できるようにしたら、市議になりたい人も増えると思う。給与もかなり減らせるから、これからの人吉には良いと思う。
- ・議員が市民のためには日々で議論しているように感じられない。
- ・議員定数削減と比例して、実力のある議員を集めるには、一定の報酬が必要ではないか。
- ・議会では中身の濃い活発なやり取りとかあるのかなと思います。人吉市が元気な、発展するような市になるよう、今の議員さんたちに頑張って議会運営に取り組んでいただきたいです。

《アンケート結果を閲覧できます》

アンケートのすべての回答は市ホームページに掲載しておりますが、下記の場所でも見ることができます。

市役所(西間下町)1階ロビー・カルチャーパレス1階ロビー・各コミセン(西瀬コミセンを除く)

編集後記

ロシアによるウクライナ侵略は、世界に衝撃を与え、物価高が人々の生活に襲いかかっています。コロナ禍は、収束へ向かうと期待されましたが、増加の様相がうかがえます。また本市においては、水害からの復興が、まだ道半ばの状況にあります。

そのような混沌とした状況の中で、6月議会が開催されました。新たな議場の開催で気分も一新しましたが、一般質問等を組み立てるにあたって、それぞれの議員もかなり悩んだのではないかと思います。

「冬きたりなば春遠からじ」という言葉がありますが、様々な状況の中で少しでも展望が示せるよう、議会としても鍛錬を積んでいかねばならないと感じています。

(写真・文責：本村 令斗)